

山 口 新 聞

平成 28 年 6 月 24 日 (金)

NO.207

農地・水・環境

守ろう 地域の手で



207



①メダカの放流の様子
②会員の皆さん

守ろう！自然・風土を 御馬環境クラブ (山口市)



本地区は山口市北東部の域。佐波川上流部に位置し、佐波川の恵みを受けた水田地帯が広がる農業の盛んな地のため、東大寺大勸進職の

俊乗房重源上人がこの地を訪れ、造管用の木材を切り出したと言われており、古くから良質な木材の産地としても知られる。木材の運搬で佐波川の浅瀬を埋め立て水位を上げるために設けた、僧取り淵に唯一現存する関水は、国指

定史跡となっている。2005年には場整備事業を完了したが、高齢化・過疎化により営農が厳しくなり、07年から多面的機能支払制度による共同活動などの取り組みを始めた。

農地・農業用施設の保全管理活動はもちろん、生態系の保全(メダカの放流)など農村環境向上活動にも力を入れている。当地区周辺では毎年6月中旬ごろ、ホタルの乱舞が見られます。今後地域全体でより一層農村環境づくりに励み、次世代に引き継ぎたいと思う。(代表、板垣幸男) 〓金曜日掲載〓

【メモ】代表〓板垣幸男
▽会員〓27人、農家(21戸)、非農家(3戸)、自治会、婦人会、子供会
▽設立〓2007年4月1日
▽連絡先〓山口市徳地船路143の2、板垣幸男さん、電話08335560980